



機能材料新時代

日時 2019 年 4 月 26 日 (金) 13:00 ~ (受付 12:30 ~)
場所 TKP ガーデンシティ仙台 13 階ホール 13A
主催 産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 Clayteam

Clayteam が従来からターゲットとしていたハイガスバリア材料の市場ニーズは今後も国内外で拡大していくと考えられます。本セミナーではまず特許庁よりバリアフィルム技術動向調査のご報告をいただきます。次に Clayteam が取り組んでいるガスバリア用クレイに関する ISO 規格化の状況をご報告いたします。また、ナノテクノロジーの中で市場拡大が期待されているファインバブル研究事例をパナソニック(株)からいただきます。産総研 MathAM-OIL からは材料のナノ構造と材料特性を相関させる新しいアプローチとして計算ホモロジーの紹介をいたします。また昨年プレスリリースした植物成分と鉱物成分だけからなる新しいフィルムのご紹介をいたします。これら産学官の取組からナノ素材や機能材料の新時代を展望する機会としたいと思います。

[プログラム] (敬称略)

13:00-13:45 Clayteam 2019 年度総会

13:45-13:55 休憩

13:55-14:05 第 34 回 Clayteam セミナー開会挨拶 古屋武 (産総研)

【 座長 】 湯浅 明子 (パナソニック(株))

14:05-14:35 「 特許庁 特許出願技術動向調査「ハイバリアフィルム」の報告 」

◆小石 真弓 特許庁 審査第三部プラスチック工学 前任上席審査官

14:35-15:05 「 ISO 国際標準化が支えるクレイナノマテリアルズ産業 」

◆蛭名 武雄 Clayteam 会長 / 産総研化学プロセス研究部門

15:05-15:45 「 ウルトラファインバブルの有機物添加による安定化と TEM 観察 」

◆菅野 恒 パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社
技術本部 主任技師

15:45-16:00 休憩

【 座長 】 相澤 崇史 (産総研)

16:00-16:40 「 計算ホモロジーによる構造モデル解析：観測画像の分類と指標化 」

◆中西 毅 産総研 MathAM-OIL ラボ長

16:40-17:20 「 植物・鉱物成分のみから成る紫外線カット透湿不燃膜の開発 」

◆敷中 一洋 産総研化学プロセス研究部門機能素材プロセッシンググループ
主任研究員

17:20-17:25 閉会挨拶

17:30-19:30 懇親会 TKP ガーデンシティ仙台 13 階ホール 13B (参加費 : 5000 円)



Clayteam事務局

〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4丁目2-1

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシンググループ内

Phone&Fax 022-237-3057 E-mail : clayteam-aist-ml@aist.go.jp

当日会場で資料配布をいたしません (環境保護のため) ので、ご了承ください。講演スライドはセミナー近くになりましたら Clayteam ホームページに掲載いたします。会員ページからダウンロードできますので、必要な場合は印刷やパソコン、タブレット等への保存をお願いいたします。